

2034

宇治田原町

第6次

まちづくり総合計画

概要版

もっと ずっと

宇治田原

やすらぎ つながり にぎわい
ハートのまち



2025

令和7年3月 宇治田原町

はじめに

宇治田原町では、これまで5次にわたり、まちづくりの基本的な指針となる「総合計画」を策定し、その時々地域課題に対応したまちづくりを進めてまいりました。

近年、新型コロナウイルスの流行やデジタル化の進展によって、価値観や生活様式はめまぐるしく変容しています。また、少子高齢社会の急速な進行に伴う生産年齢人口の減少や社会保障費の増大に加え、世界的なエネルギー価格高騰による生活物価の上昇、さらには激甚化・頻発化する災害への対応など、本町を取り巻く環境や課題も複雑化・多様化しています。



こうした社会経済情勢の変化に対応しながら、豊かさと持続可能性の両立をめざすこれからのまちづくりの羅針盤として、「第6次まちづくり総合計画」を策定いたしました。

宇治田原町には豊かな自然と歴史、そして何よりも地域を愛し支えてくださる皆さまの力があります。新しい計画では、「もっと住みやすくなる」「ずっと関われる」そのような皆さまのふるさとへの想いを込め、「もっと ずっと 宇治田原 ～やすらぎ つながり にぎわい ハートのまち～」を将来像に決めました。

先人たちが築いてこられた活力あふれる宇治田原町を、20年、30年先、そして100年先までどのようにつないでいくか、「ずっと住み続けたい」「もっと訪れたい」そう思っただけのよう、この町に関わる多くの皆さま方と地域課題を共有しながら、一つひとつの施策を進めてまいりたいと存じますので、なお一層のご理解とご助力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本総合計画の策定にあたりまして、格別のご尽力を賜りました「宇治田原町まちづくり総合計画審議会」委員、町議会議員の方々をはじめ、各種アンケートやまちづくりカフェ、団体懇談会、パブリックコメント等にご協力いただきました関係各位の皆さま方に心から厚くお礼を申し上げます。

令和7年3月
宇治田原町長 勝谷 聡一

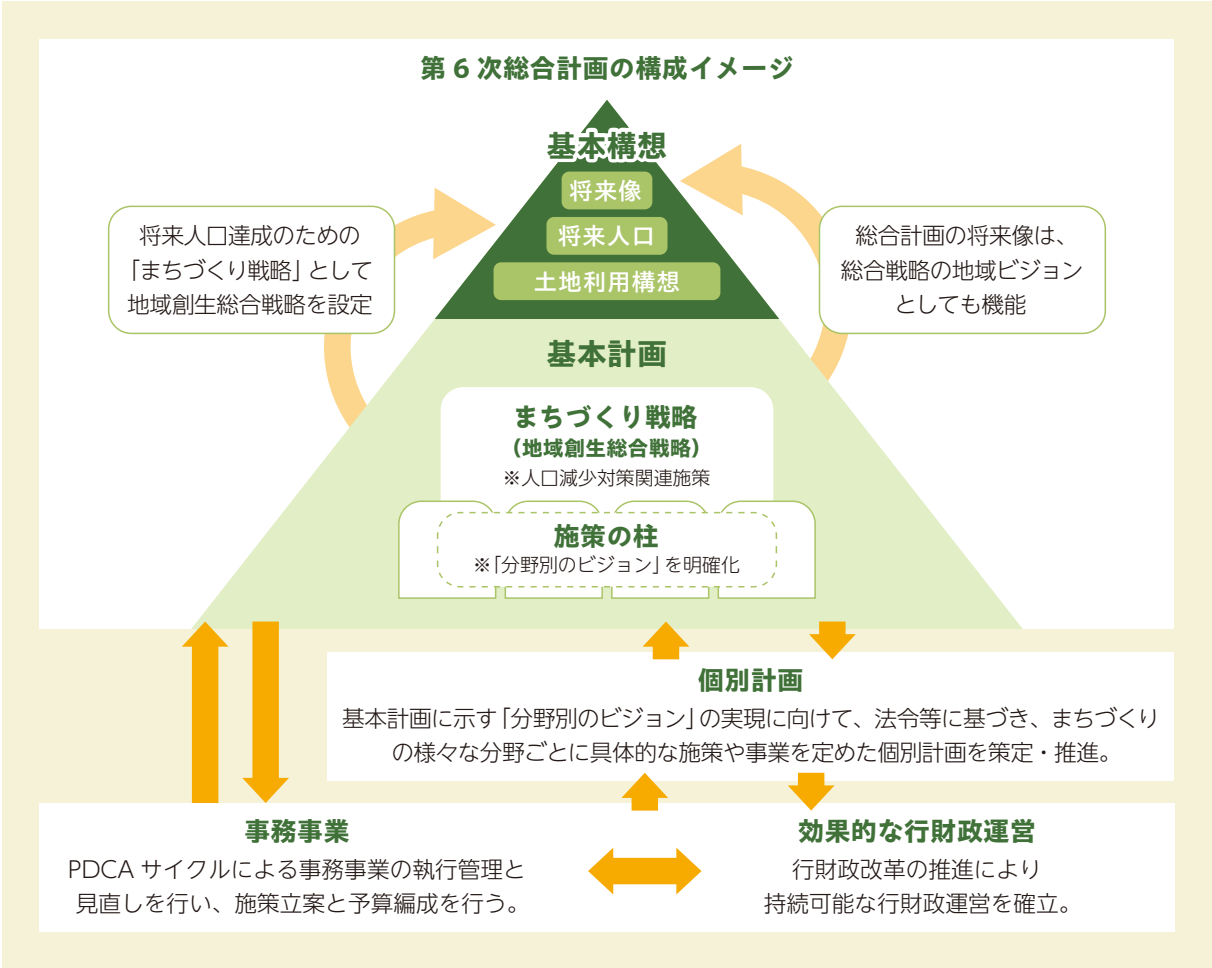
目次

1	計画の構成と期間	1
2	めざすまちの将来像	2
3	将来人口	3
4	土地利用構想	4
5	将来像の実現に向けた考え方	5
6	まちづくりの目標と行政の基本姿勢	6
7	まちづくり戦略（第3期地域創生総合戦略）	8

Ⅰ 計画の構成と期間

第6次まちづくり総合計画（以下、「第6次総合計画」という）は、本町がめざすべき将来像や将来人口、土地利用構想等を示す「基本構想」と、基本構想の実現に向けた施策を体系的に示す「基本計画」により構成します。

また、基本計画には人口減少の克服と地方創生を目的とする「まち・ひと・しごと創生法」における主要課題（人口減少対策等）に重点的、集中的に取り組む「まちづくり戦略（地域創生総合戦略）」を包含します。



第6次総合計画の計画期間は次のとおりです。

年 度									
R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)

基本構想 令和7年度～令和16年度	
前期基本計画 令和7年度～令和11年度	後期基本計画 令和12年度～令和16年度
まちづくり戦略(第3期総合戦略) 令和7年度～令和11年度	まちづくり戦略(第4期総合戦略) 令和12年度～令和16年度

※大きな社会情勢の変化等があった場合には、計画期間に依らず必要に応じて計画の変更を検討します。

もっと ずっと 宇治田原

やすらぎ つながり
にぎわい ハートのまち

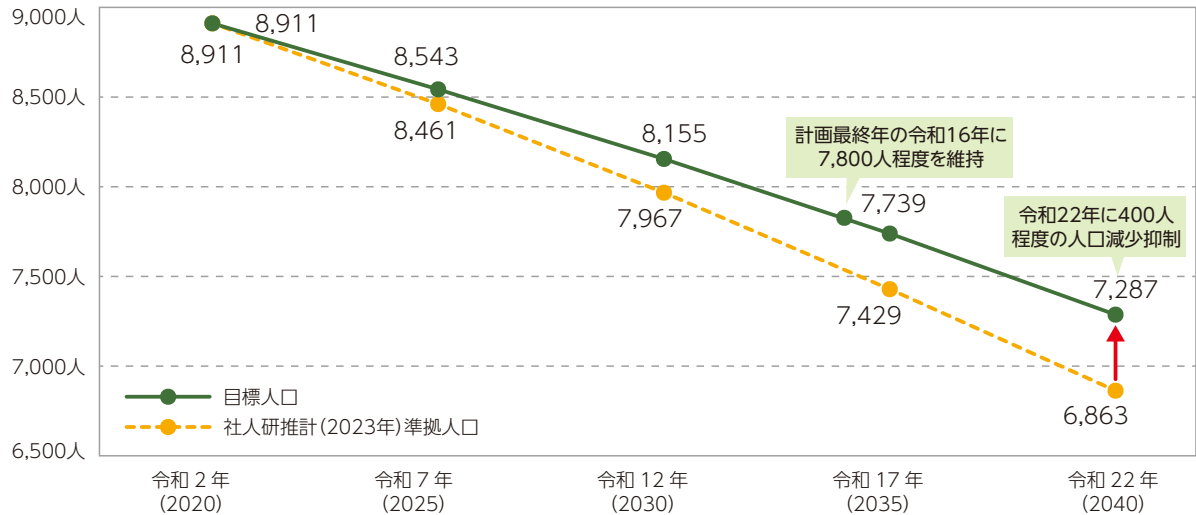
\ 将来像に込めた思い /



3 将来人口

本計画に位置づけるまちづくり戦略（＝地域創生総合戦略）を進めることによる出生や社会動態（転入・転出に伴う人口の変化）の改善により、令和 22（2040）年に 7,300 人程度の目標人口を達成することで、将来像「もっと ずっと 宇治田原」の実現につなげるものとします。

将来人口

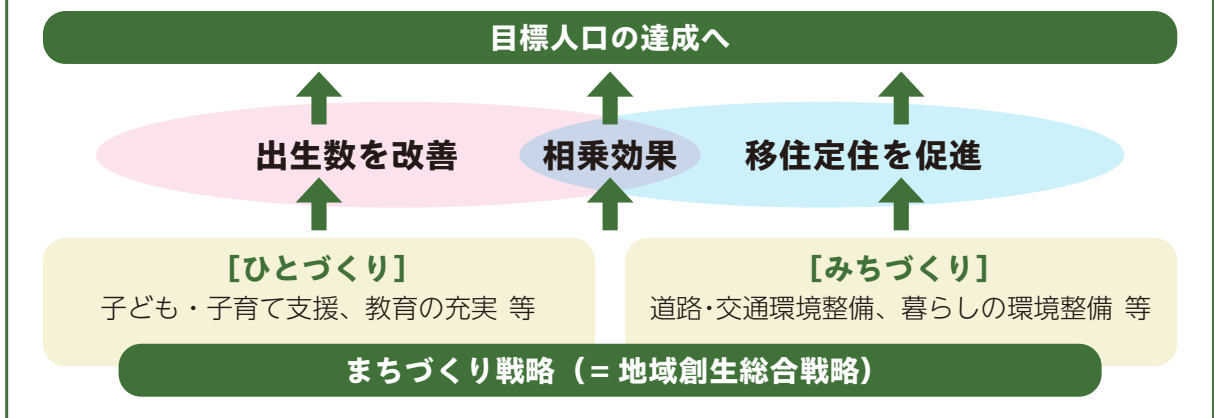


(注 1) 社人研推計（2023 年）準拠人口は、令和 5（2023）年 12 月に社人研が公表した市町村人口推計の出生・死亡・移動等の仮定値に準拠した推計

(注 2) 令和 2（2020）年値は国勢調査に基づく人口

目標人口達成に向けた考え方

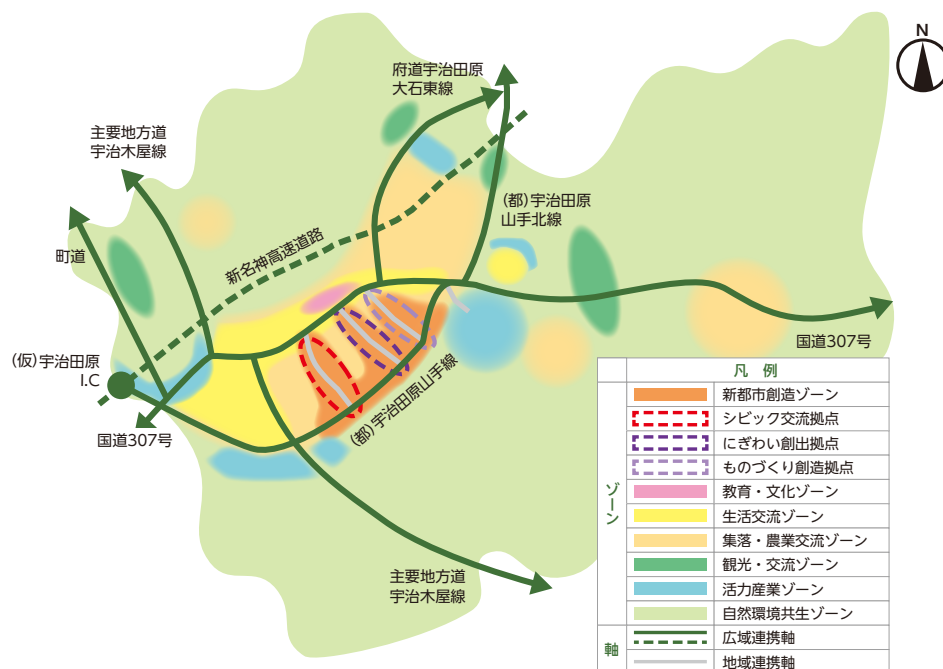
目標人口の達成に向けては、本町が重点的に進める「ひとづくり」「みちづくり」の方向性も踏まえたまちづくり戦略により、出生数の改善と移住定住の促進を図ることとします。



4 土地利用構想

以下の方針のもとに、総合的・計画的な土地利用を進めていきます。

宇治田原町の土地利用ゾーニング図・形成方針



構造区分		形成の方針
ゾ ー ン	新都市創造ゾーン	働く、遊ぶ、交流するなど複合機能を有した新都市として、付加価値の高いまちづくりを進めます。
	シビック交流拠点	公共・公益施設等をはじめとした住民サービス機能と産業・工業機能の複合する拠点整備を図ります。
	にぎわい創出拠点	まちのにぎわいの拠点として商工業機能の集積を図ります。
	ものづくり創造拠点	高度なものづくり・研究機能等の集積を図ります。
	教育・文化ゾーン	本町独自の豊かで多様な教育・文化の発信と学びの機会の提供を図ります。
	生活交流ゾーン	周辺の自然環境と調和を図りつつ、便利で快適な生活環境の形成を進めます。
	集落・農業交流ゾーン	集落の環境を保全するとともに、農地や里山を生産の場とするだけでなく、多様な交流の場として付加価値を高め、自然と人とのふれあい豊かなまちづくりを進めます。
	観光・交流ゾーン	豊かな自然環境に囲まれた自然と親しむことのできるレクリエーション活動の場や地域資源を活用した観光の拠点として、広域的な交流の推進を図ります。
	活力産業ゾーン	既存の工業団地を活かしつつ、新たに環境にやさしい企業の立地誘導を図ります。
	自然環境共生ゾーン	- 動植物の豊かな生命の営みと共生するため、水源涵養機能などの森林機能の保全を図りつつ、宇治田原町らしい風景の創造を図ります。 - 計画的な造林や育林を進めるとともに、落葉広葉樹等を含む森林資源を活かした新規林産物の育成に取り組みます。
軸	広域連携軸	- 高速交通基盤としての新名神高速道路への出入口である（仮称）宇治田原インターチェンジへのアクセス性の強化に取り組みます。 - 主要幹線である国道307号（東西方向）と府道宇治田原大石東線、大津南郷宇治線、主要地方道宇治木屋線（南北方向）を広域連携軸として位置づけ、地域間交流や広域的な連携強化を進めていきます。 - 大津市と宇治田原町をつなぐ宇治田原山手線は、災害時の地域内外の連携強化を図る広域連携軸として、また、新名神高速道路へのアクセス道路として整備を推進していきます。
	地域連携軸	地域内の中心部は、国道307号と宇治田原山手線をつなぐ道路を地域連携軸として位置づけ、安全で移動しやすい地域内交通の充実に努めます。

5 将来像の実現に向けた考え方

将来像「もっと ずっと 宇治田原」を実現していくため、4つのまちづくりの目標（基本計画における政策の柱）と、すべてのまちづくり分野に共通する行政の基本的な姿勢を定めます。

また、まちづくりの目標に基づく施策目標を達成するための施策の推進にあたっては、国際社会全体の開発目標であるSDGsを踏まえ、その達成につなげるよう努めることとします。



SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成をめざす国際社会全体の17の開発目標のこと

6 まちづくりの目標と行政の基本姿勢

(1) やすらぎのまちづくり 【安全、防災、保健、医療、福祉】



施策目標

- ① 安全な暮らしの環境づくり
- ② 地域での防災力の強化
- ③ 元気・健康づくり
- ④ 医療ネットワークと保険制度の推進
- ⑤ 支え合い助け合う地域福祉の充実
- ⑥ いきいき生活できる高齢者福祉の充実
- ⑦ 地域との共生をめざす障がい者福祉の充実



(2) つながりのまちづくり 【都市基盤、環境保全、循環型社会、交通環境】



施策目標

- ① 戦略的な土地利用の推進
- ② 環のくらしの推進
- ③ 豊かな自然との共生
- ④ 交通・住まい環境の充実
- ⑤ 安全な水の安定供給と環境にやさしい下水道整備の推進



(3) にぎわいのまちづくり 【移住定住、観光、商工業、農林業、雇用】



施策目標

- ① 観光の魅力向上と移住定住人口の増加によるまちの活性化
- ② 商工業の振興
- ③ 農林業の活性化
- ④ 就業環境の充実



(4) ハートのまちづくり 【子育て、教育、生涯学習、スポーツ、文化、人権、男女共同参画、多文化共生】



施策目標

- ① 子育て環境の充実
- ② 子どもたちの教育の充実
- ③ ライフスタイルに応じた生涯学習・スポーツの推進
- ④ 郷土愛の醸成と地域文化の継承
- ⑤ 人権・男女共同参画と平和を尊重する環境づくり
- ⑥ 多文化共生の推進



(5) 行政の基本姿勢 【住民・行政のパートナーシップ、行財政運営】



施策目標

- ① 住民が主役のまちづくりの推進
- ② 効果的な行財政運営（デジタル化推進含む）

7 まちづくり戦略（第3期地域創生総合戦略）

将来像実現のための目標人口（令和16（2034）年に7,800人程度を維持）の達成へ

1

うじたわらっ子 育み応援戦略

〔子育て世代の希望の実現、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくり〕

出生数の増加

〔KPI〕

- 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業数
- 産前産後における妊婦相談支援のフォロー率
- 保育所待機児童数
- 子育て支援アプリの利用率 等

中学生以下の児童がいる世帯の増加

〔KPI〕

- 子育て環境や支援への満足度
- 「学校に行くのは楽しい」と答えた児童生徒の割合
- キャリア教育等先進授業をとらして将来の夢や目標を持つ生徒の割合
- 「うじたわら学び塾」参加者の満足度 等

2

まちの活力 アップ戦略

〔新しい人の流れの創出、地域の魅力発信、働く場づくり〕

移住者の増加

〔KPI〕

- 若者のUターン件数
- 移住定住支援の利用者数
- 子育て世帯の転入件数 等

関係人口の増加

〔KPI〕

- 観光入込客数
- ふるさと納税の感想投稿・応援メッセージ件数
- 町のSNSのフォロワー数 等

町内従業者の増加

〔KPI〕

- 町内企業・事業所就業者数
- 企業就業推進事業への参加者数
- 新規事業者創業等件数 等

3

ずっと 住み続けたい まちづくり戦略

〔シビックプライド醸成、住民の幸福度の向上、安心・安全、健康のまちづくり〕

住み続けたい住民の割合の増加

〔KPI〕

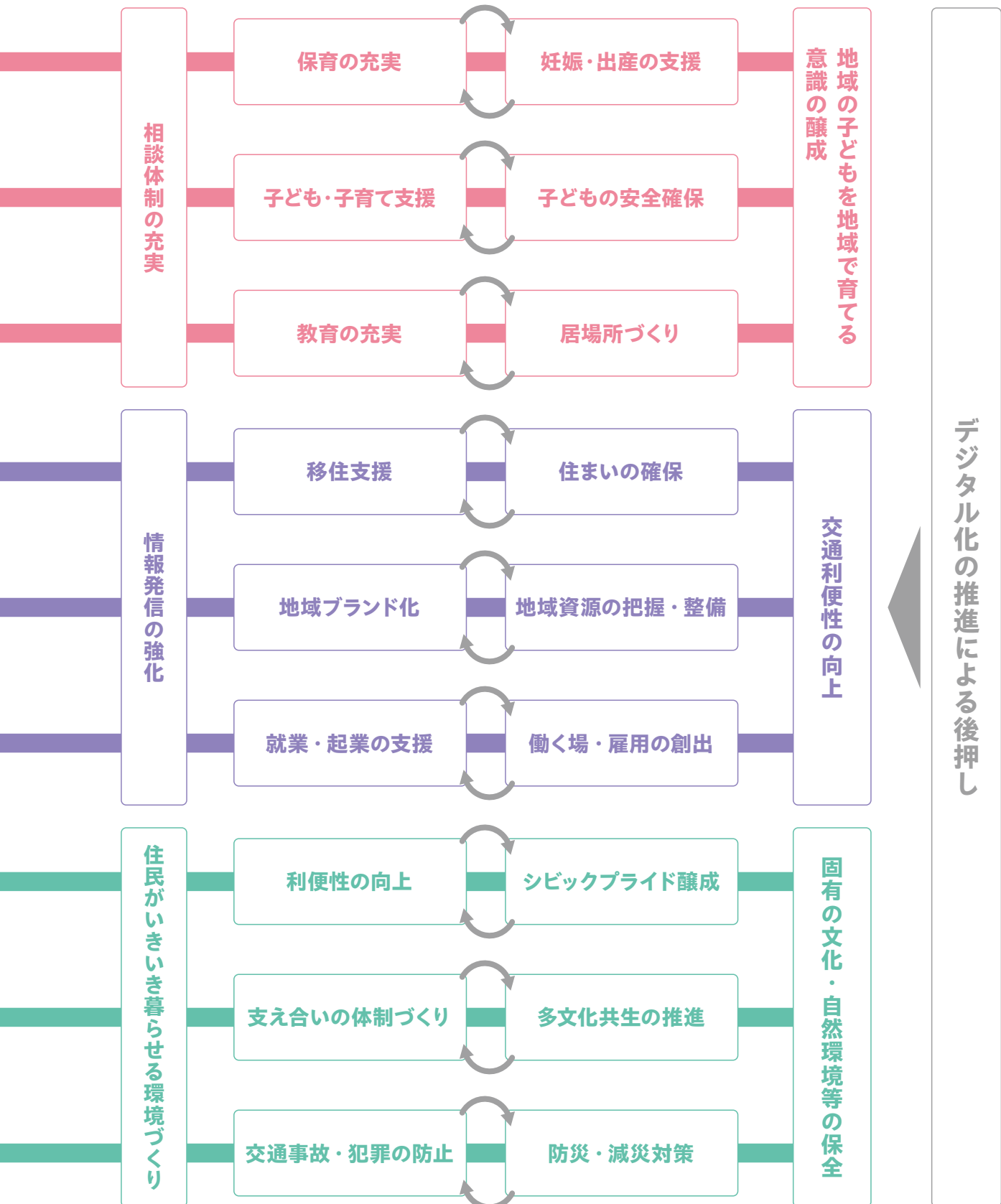
- 宇治田原町に愛着を感じる住民の割合
- 宇治田原町が好きな中学生の割合
- 地域の産業や自然、伝統文化を学ぶ地域学習の授業時間数
- 多文化に触れる講座の開催件数 等

健康で安全に暮らしている住民の増加

〔KPI〕

- 防災アプリ「@InfoCanal」の登録者数
- 交通事故件数
- 刑法犯認知件数
- 週3日以上運動習慣のある者の割合 等





もっと  ずっと

宇治田原

やすらぎ つながり にぎわい

ハートのまち



宇治田原町 **第6次**
まちづくり総合計画

概要版

令和7年3月発行

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字立川小字坂口18-1

宇治田原町 企画財政課

TEL 0774-88-6632(直通) FAX 0774-88-3231

MAIL kikakuseisaku@town.ujitawara.lg.jp

URL <https://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>



宇治田原町HP